

令和元年
6月定例会

No. 145

議会だより



ましこ



6月定例会審議結果……………	2～3
一般質問……………	4～7
常任委員会活動……………	8～9
町民の声……………	10

7月7日に行われた県消防協会芳賀支部消防操法大会

6月定例会

一般会計補正予算を審議

令和元年第2回定例会は、6月4日から5日までの2日間の会期で開かれました。
条例改正1件、補正予算2件のほか人事案件を審議し、原案どおり可決されました。

令和元年度会計別決算

令和元年度6月補正予算は、全員賛成により可決されました。

会計区分		歳入総額	歳出総額	差引残高
一般会計		77億,8000万円	6,559万円	78億4,559万円
特別会計	国民健康保険	26億6,200万円	—	26億6,200万円
	後期高齢者医療	2億 700万円	—	2億7,700万円
	介護保険	15億6,728万円	—	15億3,699万円
	内訳	保険事業	—	15億2,800万円
		サービス事業	—	899万円
	公共下水道事業	5億1,400万円	—	8億3,600万円
	農業集落排水事業	1億 100万円	—	9,800万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・プレミアム商品券事務（930万円）
- ・幼児教育保育の無償化システム改修（858万円）
- ・農業用ハウス強靱化緊急対策事業（251万円）
- ・強い農業担い手づくり総合支援交付金事業（1,000万円）
- ・町民センター用地取得（2,510万円）
- ・コミュニティ助成事業補助金（370万円）
- ・総合体育館多目的室空調更新工事（262万円）

人事

○益子町副町長の選任の同意

（賛成多数）

令和元年6月30日付をもって退職する

益子町大字前沢

法師人弘氏の後任人事で、

茨城県牛久市牛久町

横田清泰氏が同意されました。

報告

○平成30年度繰越明許費

繰越額は一般会計で3千110万円です。主な事業は、保育所等整備事業費補助事業、地籍調査事業、町道31号豆田橋架替事業などです。

○株式会社ましこカンパニーの経営状況

地方自治法の規定に基づき第三セクター株式会社ましこカンパニーの報告を受けました。

平成30年度の来場者数は77万7千人、売上は5億9千968万1千円円で、うち純利益は1千394万2千円です。

【第2回定例会 賛否一覧】（賛否が分かれたもののみ掲載）

議案	○益子町副町長の選任の同意															
議員名	関 絹江	諸田 秀之	大内千嘉夫	星野 壽男	大関 保	小野澤則子	直井 睦	日渡 守	小島 久之	岩崎 秀樹	高橋 家光	加藤 芳男	長岡 景介	廣田茂十郎	高橋 正則	小島 富子
賛否	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

賛否 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わらない



一般質問

4名の議員が登場！

日渡 守 議員 4ページ

- ① 芳賀郡市内の諸問題について
- ② 本町の基幹産業とすべき観光産業の諸問題について
- ③ 本町のランドスケープに関する安全性・利便性・審美性等の諸問題について

大関 保 議員 5ページ

- ① 益子町での雇用機会対策について
- ② 観光振興とその対策について
- ③ 働き方改革と行政サービスについて

直井 睦 議員 6ページ

- ① 部長職員の欠員について
- ② 観光政策の推進について
- ③ 学校給食について

岩崎 秀樹 議員 7ページ

- ① ランドスケープデザインについて
- ② 治水について

陳情

● 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
(平成31年陳情第3号)

◇陳情者

沖縄県那覇市銘苅1丁目3番36号ハピネス新都心Ⅱ302号

「新しい提案」実行委員会

代表 安里 長従

◇趣旨

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書を国及び衆議院・参議院に提出すること

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続審査となった。

● 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
(令和元年陳情第1号)

◇陳情者

東京都新宿区四谷二丁目8番地
東京青年司法書士協議会

会長 半田 久之

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続審査となった。





日渡 守 議員

郡市内1市4町間のデマンドタクシー等の相互乗り入れはできないものか！

日渡

高齢者が車の運転をやめても病院や必要な買い物ができるように郡市内1市4町間のデマンドタクシー等の相互乗り入れは絶対必要と考えるが、町長の見解を伺います。

町長

デマンドタクシーは地域内での重要な公共交通機関として役割を果たしています。芳賀地区全体として市町相互間の乗り入れが可能となれば利用者の利便性は向上していくものと考えます。

また、芳賀赤十字病院が北真岡駅近くに移転したことに伴い、益子町の通院者からも要望が増えるものと推察します。

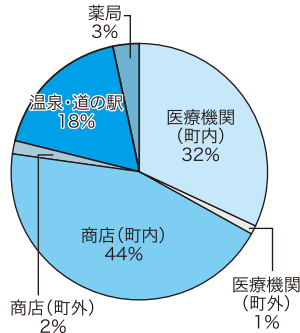
課題は、運行にかかる費用、

運行車両や人員の確保、民間事業者との共生、他市町内の交通事業者との兼ね合い、真岡鐵道の利用促進との相互関係等をどうしていくか、という

芳賀町ふれあいタクシー「ひばり」利用実績(例)

主な乗車場所（平成29年度）

利用場所	回数
医療機関（町内）	2,702
医療機関（町外）	100
商店（町内）	3,740
商店（町外）	139
温泉・道の駅	1,501
薬局	275



うところでは、コミュニティバスの再編により北真岡駅から芳賀赤十字病院を経由する新たなルートが設定されましたので、まずはこれら公共交通機関の相互利用の利便性の向上に努めてまいりたいと考えます。

今後は、デマンドタクシーと他の公共交通機関との共存共栄はもとより、新たな公共交通機関の可能性についても機会を捉えながら広域的な協議を行ってまいります。

滞在型観光客を増やして、実利を挙げる工夫を！

日渡

観光客誘客の拡大というテーマを掲げ、益子町でも観光客入り込み数、観光客宿泊者数、あわせて外国人の観光客数、インバウンド宿泊者数等KPIを凌駕しています。ただ欲を言えば、栃

木県全体と益子町の人数等との割合を計算してみると若干低い数値になっています。今後の見通しと取り組みについてお伺いします。

町長

全体的にKPIを突破しており、新たなKPIを提示することが必要かと

考えます。課題の宿泊者数は、

日本人がH30年約4万8千人、外国人がH30年約1千2百人で増加しています。今後はイベント時以外の平日の普段の魅力づくりが大切だと考えます。マーケティングによる市場調査の分析結果をもとに、ニーズに合った周遊観光プランや体験プログラム等のツアー商品の充実を図ることで観光客の滞在時間の延長を促し、宿泊者数やインバウンド誘客の増につなげてまいりたいと考えています。

ランドスケープ計画として風景・眺望・資源・環境等をしっかり守ろう！

日渡

益子小の南東部における森林開発は、環境問題の観点から極めて大きいものがあるが、目的、工事の推移、安全対策についてお伺いします。

町長

この件に関しては、町内事業者から土地利用に関する事前協議の申請が出されています。その目的は、くぼ地である約7千平米のエリアについて盛り土を行い、資材置場として活用するもの



益子小南東部山林風景

です。町ではその施工に関して、関係各課で組織する土地利用幹事会及び委員会により、法的要件や安全対策等について指導を行いました。具体的には、樹木の伐採に係る届け出や工事における町道通行車両への安全確保、土砂等の流出防止等でした。今後とも安全対策等については、状況に応じ適宜指導してまいります。

環境課長

地域下流の根古屋池周辺の土砂の流出の件については、流出防止策を取るよう業者に指導をしました。県からも県知事名で文書として流出防止策や調整池等による対策を取るよう指導をしました。

工業用地を確保して企業誘致を!!

大関

新ましこ未来計画にある風土に根差した産業

産業とするための取り組みを優先している。

をつくるためスモールビジネスの推進と企業支援による産業づくりとしての取り組みによる結果、どの程度雇用は増えたか。雇用機会を増やすため、工業用地を確保し企業誘致を進めるべきではないか。

町長 セミナーで就職者38人、創業者6人、合同就職面接会で、18人就職できた。道の駅では、平成28年度末24人、29年度末40人、30年度末は51人になった。

企業誘致については、新たな動きはしていない。町内の用地に関する適地調査の情報収集に努めている。農業、食

そして観光を地場産業、基盤

大関

雇用が増えたという道の駅の正社員は何人か。51人の従業員中、正職員は7人です。

農政課長

観光立町推進は間違いないが、時間がかかる。真岡市、芳賀町でも工業団地造成を計画している。現在企業は2極化しており日本帰の傾向にある。10年先、20年先を考えて、また、移住・定住を進めるためにも企業誘致を考えるべきではないのか。

大関

新ましこ未来計画が終了するまでは、農業と食、観光を地場産業づくりをいかにしていくか注力してい

町長

新ましこ未来計画が終了するまでは、農業と食、観光を地場産業づくりをいかにしていくか注力してい



大関 保 議員



雨巻山登山者用駐車場

く。次の計画も間もなく始まるのでその中で、今後の産業づくりにおいてどういう方向に進むべきなのか様々な観点から検討して、計画に寄せていくように考えている。

観光振興と対策について

大関

最近来客が増えてにぎわっている雨巻山の登山道の管理はどうしているか。

ここは、年間を通して来客が見込める貴重な観光資源であるので、来客用駐車場、トイレの整備等が必要ではないのか。さらに、回遊性を高める道路整備の推進として、雨巻山に通じる道路整備の予定は

ないのか。

町長

登山道の管理は益子くべ会と雨巻山登山道整備協定を結び、ボランティアで整備をお願いしている。

駐車場は、70台駐車できる。昨年1日平均26台、休日平均で41台だった。駐車台数が超過する日があった。今後現地確認し、対応を検討していく。

トイレについては、現在仮設トイレ3基で、登山者の利用状況を把握しながら更新を検討していく。回遊性を高める道路整備について、雨巻山に通じる道路も含めて総合的に検討している。特に雨巻山に通じる道路は地元の方々、先輩議員からも要望を受けているので整備を検討している。

大関

駐車場を有料化して管理費の一部に回せるような整備をしては。

観光商工課長

駐車場の利用を考えると一部有料化は検討していいなかった。内部で検討する。

働き方改革と行政サービスについて

大関

政府における働き方改革の推進により益子町

でも予定していることはあるか。またそのことによって行政サービスに影響は出ないか。また、公務員の給与の比較としてラスパイレ指数が発表になっているがそのことについてどう思うか。

町長

働く者が多様な働き方を選択できる長時間労働の是正や柔軟な働き方の実現、雇用形態にとられない公正な待遇の確保であり、町職員については時間外労働の上限規制等に取り組んでいる。また、年間有給休暇の取得促進、公正な待遇確保の制度設計に取り組んでいる。職員行政サービスについては適切な人事、職員の質の向上を通じて、影響を及ぼさないよう取り組む。

国と地方の公務員の日給料を比較する指標であるラスパイレ指数は現在95.8%で県内で一番低い数字になっている。適正な給与水準を図れるよう人事評価制度の見直しを図る。給料比較で県内で一番下というのは職員の士気にもかかわるので、今後行政サービスに支障のないよう取り組まれることを望む。

大関

下というのは職員の士気にもかかわるので、今後行政サービスに支障のないよう取り組まれることを望む。



直井 睦 議員

「観光戦略会議」が始動 その役割と今後の方針は？

直井 観光戦略会議が設置され、この組織は観光政策推進の要になると考えるが、戦略会議が担う役割はどのようなものか。

町長 観光を基幹産業にするために必要な組織（DMO）の検討、本町の観光戦略の大綱の策定と益子のブランドづくりの核となる事項の3点について、議論を重ね検討していただきたい。

直井 戦略会議とあわせて「DMO等準備室」を設置したが、行政とのかかわりをどのように考えているのか。

町長 準備室では、地域ポイントカードの導入、観光に関するマーケティング調

査と分析を行う。今後、DMO法人設立に向け推進体制を検討し、組織形成の協議をした上で各団体と合意を図る。

DMO法人が設立されればマーケティング、マネジメントの中核は法人に移管し、行政は観光政策に必要なインフラ整備等の役割を担う。

直井 地域ポイントカードシステムの導入を本年度中に実施予定であるが、戦略会議でどのように推進するのか。

町長 現在システム基盤の整備を進めており、今後は商工会等に協力を得て、商業・観光事業者等を中心に加盟店募集の説明会や加入促進の広報活動を進める。

※「DMO」とは、デスティネーション・マネジメントマーケティング・オーガニゼーションの略で、地域が主体となり観光地域づくりの推進主体となる法人。

食材の価格高騰、アレルギー対応「学校給食」の課題は？

直井 食材の価格高騰による学校給食の動向について、今後見込まれる対策をどのように講じるのか。

教育長 給食費は平成9年より改定することなく、献立内容の工夫等により食材価格の上昇に対応してきた。今後は質の維持、安全安心な給食を提供するため、食材価格の状況等を注視し、給食費の改定も含めた対応を検討したい。

直井 今後、消費税増税を見据え食材価格の高騰に対処するため、行政として食材費の一部補助はできないか。給食費はすべて食材費に充てているが、ご飯は給食センター外で委託炊飯しており、加工分も含まれ提供している状況にあり、検討に値すると思う。すでに給食運営委員会で給食費の改定

を検討する意見も出ており、内容等を含め協議していききたい。

直井 食物アレルギーの対応として除去食での提供を行っているが、代替食の検討を含め、対応マニュアルの改善を図る考えはないか。

教育長 平成30年度に対応マニュアルを策定している。安全性を最優先とした原因食物の完全除去対応を原則とする、国の指針を踏まえた内容であり、現在のマニュアルに基づき対応したい。

直井 生死にかかわるアナフィラキシーショックの対応はできているか。

教育長 各小中学校さまざまな研修の機会を捉えて、アナフィラキシー対応注射薬の使用法を含め対応できるよう研修を実施している。



給食センター調理風景

なぜ「産業建設部長」が欠員となっているのか

直井 産業建設部長が不在となつている理由と今後の見通しについて伺う。

町長 「新ましこ未来計画」における町内総生産600億円の達成に向けて政策に力をいれており、そのために経済界からの人材招聘を行い、交渉を進めているところであり、7月の着任を予定している。

直井 4月から不在となつている要因やそれに伴い職務の影響はないか。

副町長 今回の人事については民間からの招聘を予定しており、4月からの対応はできかねるということで、7月までずれ込んだ。空席となつているが決裁等の職務に滞りはない。

直井 招聘する部長の雇用形態はどのようなものか。

副町長 一般職での採用で最長5年の任期付きとなる。令和元年7月1日付で産業建設部長に、(株)あしぎん総合研究所より「池田浩之」氏が着任されました。

ランドスケープデザインについて

岩崎 ランドスケープデザインの事業目的は。

町長 ランドスケープでは町民の皆様に馴染みづら

いので、風景づくりの計画と説明している。益子の美しい風景を守り、活用し、資産として未来につながる事を目的と考えている。

岩崎 どのような成果が予想されるのか。

町長 この美しい風景を維持するには田畑を耕し、山の手入れをするという営みが不可欠。合わせて細やかな取り決めも必要。美しい環境のもとに暮らすことそのものが益子ならではの大きな価値のあることと、町外の方々にも美しい里山の風景をより楽しんで頂けるようになること

が成果。

岩崎 これからの公共事業にどのような変革をもたらすのか。

町長 今後益子町の風景に係る公共事業の整備や計画のガイドラインができる。

山、川、田畑をはじめとする風景の大切さを町民と分かち合う基準ができ、今後の森林や田畑の維持や整備において計画性をもたせることができる。更に利便性のみを求めるインフラ整備から歩行者や自転車利用者に安全でかつ周辺の景観に配慮した計画を策定することができる。

岩崎 今後どのような法整備を考えているのか。

町長 今回のガイドラインとなりえるランドスケープ

プ計画、風景計画をもとに、景観保存、文化保存のために町民のご意見を聞きながら今後検討していく。

治水について

岩崎 町の基本方針はどのようなになっているのか。

町長 益子町地域防災計画において水防体制の整備として位置付けている。県において5年毎に土石流危険箇所、急傾斜の調査を行っており、県と連携して実体を把握している。

岩崎 早急に手掛けなければならない危険箇所はどの位あるのか。

町長 現在西明寺の釜ヶ入沢、長堤沢の砂防ダム、2か所の測量が県により進められている。

岩崎 過去にお尋ねした七井中学校の調査結果はどのようなになっているのか。

町長 七井小学校南側については七井郵便局前付近において雨水が道路南側の側溝に流れ込む状況を把握し、道路が県道であることからその対策を引き続き県に要望している。七井中西側について

も状況を把握し、均等に雨水が流れるよう対処したが、今後雨の状況により対処していく。

岩崎 過去にお尋ねした小宅川や大羽川の浚渫事業の進捗状況は。

町長 小宅川や大羽川の浚渫事業は県の所管。大羽川に関しては今年度浚渫の予定があることを確認している。小宅川の浚渫に関しては今年度の予定はないが、早急にやって頂けるよう、引き続き県に要望していく。

岩崎 過去に町道の側溝等は住民の皆様と協働による土砂さらいを実施しているとの回答を得ているが、住民の皆様との協働の体制はどのように構築しているのか。

町長 町道の側溝等の不具合は地元の方から通報等を頂いて確認している。土砂に埋もれ、雑草に覆われ側溝として機能していない箇所が多数見られるが、その把握と対処は、地元からの要望、通報のあった所を順次点検し、予算の範囲内で土砂の撤去、法面の刈払いを実施している。

岩崎 七井駅周辺には非常に低い宅地があり、大雨はもとより、少し多めの降雨でも家屋内に雨水が流れ込むとか、大水になると床下浸水してしまうというお話を伺う。これに對しての対応はどのようにお考えか。

建設課長 確かにかつてあそこが水であふれていた事は何回も聞いたことがある。先程の町長答弁の通り、雨の状況にに応じて対処していく。住民の方から住んでいられないとの声も聴く。七井駅周辺の治水事業は早急に取り組む必要があると思うがいかがお考えか。

建設課長 状況を再確認して、総合的に対処していきたいと考えている。

岩崎 新ましこ未来計画にも、「自然災害を考慮した安全・安心なまちづくりを推進します」とある。安全は安全基準を満たせば、担保されるが、安心は個々人の考え方による。ましてや自然災害に被災された方にはトラウマが残り、環境の改善が見られない限り安心には至らないと思う。是非この不安を安心に変えるまちづくりを希望する。



岩崎 秀樹 議員

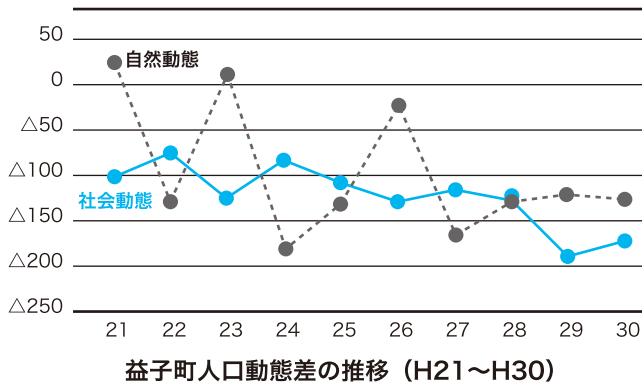
総務産業
常任委員会

5項目

- 令和元年度各課重点事業
- 公共交通
- 移住定住対策
- 人事管理及び職員研修
- 陳情（P3に記載のとおり）

●令和元年度各課重点事業
【意見】
《総務課》

職員の採用について、現職員数の適正化が図られているか、事務事業の効率化と併せて取り組んでもらいたい。友好都市ダブリン市との交流事業については、費用対効果を鑑み文化交流以外でも取り組みむ必要性がある。消防団員確保として報奨制度等の充実を図ることを求めた。



《企画課》

空き家バンク制度については、借り手の需要があり、登録を広く促す必要がある。高齢者の交通手段の利便性を図るため、町民からの要望であるデマンドタクシーの相互乗り入れ等、広域連携の取り組みも検討されることを要請した。

また、今後の財政運営の健全化を鑑み公共施設等の個別管理計画の策定について、一元化での取り組みも含め早期に策定されることを要請した。

《農政課》

新設予定の地域振興拠点施設加工所更新のタイムスケジュールを確認し、地方創生交付金申請等今後の事業展開を滞ることなく進めていくことを確認した。

また、新たな野菜・果樹等農作物の推進では、小泉・本沼地区で生姜・人参が生産される予定であるとの報告を受け、果樹についても検討すべきとの意見があった。

《観光商工課》

ましこ悠和館の指定管理者となる(株)サンアメニティについて説明を受け、協定書締結等今後の動向を注視する。英国プロモーション事業は、濱田庄司とバーナード・リーチの交流100周年の記念事業となり、町長をはじめ行政が主体となり益子焼のトップセールスを行う意義について説明を受け、有機的に実施されることを求めた。



●公共交通

デマンドタクシー、真岡鐵道・路線バス等の現状と課題について審議及び協議を実施。デマンドタクシーについては、利用者・登録者ともに年々増加傾向にある。真岡鐵道については、利用者が年々落ち込んでおり、特に定期学利用者の減少が著しい。

【改善意見】

デマンドタクシーについて、回数券・定期券の販売、乗合タクシーの可能性等の検討を要請した。また、観光客の交通手段として、観光タクシー育成支援等を考えるべきである。



●移住定住対策

移住定住推進のための施策として今年度の新規事業である東京23区勤務の方を対象とした移住支援金制度をはじめ、5つの施策と人口動態について審議及び協議を実施。

【改善意見】

定住促進住まいづくり奨励金の増額、分譲地供給の宅地開発補助等も検討すべきである。すでに移住されている方のコミュニティネットワークを構築し、今後の移住定住政策につなげることが必要。

●人事管理及び職員研修

近年の職員採用実績、給与体系、勤務状況、行政事務事業の効率化、職員の研修受講状況等について審議及び協議を実施。

【改善意見】

先進自治体事例の調査研究に努め、事務事業の効率化を図り、時間外、休日出勤を削減した上で職員数の適正化を求めた。職員研修では、自発的受講の検証、職員間での共有体制の構築等の意見があった。

議会定例会の閉会中の継続調査について審議しました！ ～5月・6月実施分～

教育厚生
常任委員会

3項目

- 令和元年度各課重点事業
- 学校給食
- 小・中学校のエアコン設置状況

●令和元年度各課重点事業

【意見】

《住民課》

全体的に正しい目標設定が必要であり、タイムリーに問題を洗い出しチェック（検証）・アクション（改善）していくべきである。

《環境課》

イノシシの捕獲について、昨年かなり捕獲し成果があったと思うが、通年実施するのではなく、短期的に実施し1度減らさないとなかなか解決しない問題だと思われる。思い切った措置を講じる施策の検討をお願いしたい。

また、通学路にも出没しているという話も聞いているので、学校教育課と連携した対策が必要である。

高館山頂付近の維持管理については、県だけでなく生涯学習課や観光商工課なども含め考えていくべきである。

《健康福祉課》

婚活について、実際活動をしている団体の把握を含めた現状調査や支援など具体的に結婚に結びつく取り組みの検討を求めた。

《学校教育課》

学校の環境整備について、去年各小中学校に防犯カメラは設置し、学校での安全対策は行っているが、不審者に対応すべきスクールガードリーダーを充実させるため、スクールガードリーダーの資質向上を図るような手だてを検討し、学校と連携して対策を取ったかどうか。



《生涯学習課》

日本遺産申請について、さらに十分検討して認定されるように努力されたい。

茅葺き屋根の修理は高額な費用がかかるため、何らかの方策の検討を継続して行っていく必要がある。

●学校給食

給食センターで実際に試食をしてから審議を行った。

アレルギーについて、昨年同様多段階対応はせず、「完全除去」または、「他の児童生徒と同じように提供する」のどちらかで対応する。

地産地消について昨年度の地産地消率が22.7%となっているが、野菜の調達状況等により変動する。

【改善意見】

アレルギーについて、多段階対応の研究及びアレルギー対応の検討もしていく必要がある。

※ハラル……イスラム法で食品に関する規定の要件を満たしている食品。



●小・中学校のエアコン設置

6月20日までにすべての小・中学校で設置が完了。

室外機の騒音についてはほぼ感じないレベルであり、授業には支障がないと思われる。温度設定については28℃とし、各教室での温度変更はできないようにしている。

【改善意見】

節電を図る上で、ピーク電力量を抑えるために時間差を考慮して電源を入れるよう努力する必要がある。



町民の声

岡田 幸子さん



「益子で生まれ育った若者が、都会に出て、また戻ってきたいと思えるような町づくりを」

2000年に益子へ移住。現在夫と2人暮らし。趣味は絵手紙、祭り、寿し作り、コーラス。元中学、高校教師。

私どもは結婚当初より定年後は田舎暮らしをしたいと考えていました。体育館のような開放的な建物を造りたいと。

定年となり11回目の引越で益子に移住。体育館とは程遠い小さな家―丘の上に人の入りやすい家―を作りました。

私は趣味や畑作りですぐに近所に溶け込むことができましたが、夫は隔月で12年間東京に通い70代で仕事をやめたので、これからの生活は好きなゴルフと何をしようかと考え込んだようです。その頃栗生自治会は元からの人、外部から移住の人がちょうど半々に、話がまとまりやすい利点

がありました。遊栗会という老人会を理解ある会長の下に立ち上げ、毎月二日に欠かさず定例会をもちました。内容は東向観音のお祭りの後、うどん、そばを打ち昼食をもつのです。地区の外部からそば打ちの指導、写真の名手が参加し、和気あいあい冗談が通じる会となりました。町バスを利用しての旅行や鉄道の旅も経験し、和が結束されてきた頃、栗生地区では夜毎猪が出没し、ほとんどの作物が収穫できなくなっていました。話し合いで共同農園をやることになりました。三反歩の農地に電柵を張り、いろんな野菜

を作りました。なにせ農家の人が多いので、野菜作りはお手の物。分け合っても余るほどの収穫でした。作業後のおしゃべりの中で、作業に参加できないお年寄りや一人暮らしの人の生活上の問題が話題となりました。交通手段はデマンドタクシーによって改善しつつありますが、身内だけでは支えきれないことを地域で助け合うために「おせっ会」という組織も立ち上げることになりました。

ただ、私のような高齢者ばかりが移住してきても益子町全体の経済効果は少ないと思います。若い働き手が移住してきて、自然環境の良い場所で子育てができれば、とてもすばらしいことだと思います。今や世界中の出来事がどこにいても瞬時に伝わる時代であり、地方だから情報が遅れることはないと思います。高齢者も若い人も移住者が増えるように知恵を出し合い、経済的にも豊かな益子町になれるよう期待します。

議会報告会並びに 意見交換会を 開催します！

広報広聴
常任委員会

平成30年度の
決算を解説！

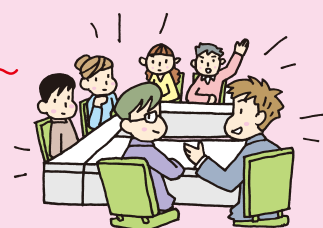
今回は決算についてです。
ぜひ、お気軽にご参加ください。

10月23日(水) 午後6時30分から
中央公民館 2階研修室

～みなさんの声を
議会に届けてみませんか？～



益子町議会HP



あなたも議会を
傍聴しませんか

次回 **9月3日(火)**
開会予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。
また、9月から議場カメラが導入され1Fホールのテレビでの放映を予定しています。